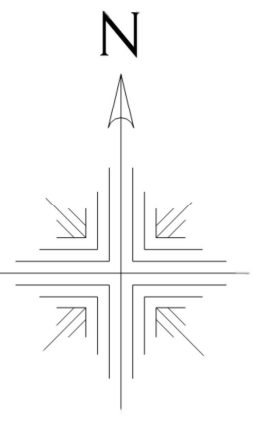


雨水出水浸水想定区域図
(想定最大規模降雨_上越処理区)



1:25000

凡 例
浸 水 深

	20 m ~
	10 m ~20 m
	5 m ~10 m
	3 m ~ 5 m
	1 m ~ 3 m
	0.5 m ~ 1 m
	0.3 m ~0.5 m
	0.3 m未満(0.1 m未満は非表示)
	下水道処理区域界

1. 説明文

- この図は、上越市内において、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨が発生した場合に想定される浸水の範囲やその水深を示した図面です。
- この図において、水防法第 14 条の 2 第 2 項第 4 号の規定により定める雨水出水浸水想定区域は図中の赤色枠（上越市公共下水道（雨水）区域）で示しています。
- この浸水想定区域図は、想定最大規模降雨（1 時間 降水量 130mm）により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を浸水シミュレーションにより求めたものです。
- 想定最大規模降雨は、毎年 1 年間にその規模を超える降雨が発生する確率が 1/1000（0.1%）年程度の降雨量を上回る降雨になります。
- この浸水シミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものです。時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深は異なる場合があります。

2. 基本事項等

- 作成主体：上越市
- 指定年月日：令和 7 年 3 月 14 日
- 告示番号：上越市告示 第 110 号
- 指定の根拠法令 水防法（昭和 24 年法律第 193 号）第 14 条の 2 第 2 項第 4 号
- 指定の前提となる降雨：平成 18 年 10 月 29 日の既往最大規模降雨（気象庁 高田特別地域気象観測所 88.5 mm/h）の降雨波形を基にピークの 1 時間降水量を 130mm 降雨に引き伸ばした想定最大規模降雨
- 浸水想定手法：浸水シミュレーション手法（簡易モデル）[降雨+氾濫]
- 境界条件：市内を流れる国・県管理河川は、常時計画高水位の条件とした。
- その他計算条件等：対象区域を約 25m のメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算

3. 備考

このシミュレーションの実施にあたっては、指定の前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。